議会だより ここのえ

豪雨にも、コロナにも、
九重町は負けない。

がんばろう大分。
がんばろう九重。

No.131
2020.10.16発行

#がんばろう ここのえ

- 特集　令和元年度　決算審査 …… P.6~7
- わたしのひとこと …… P.19
  南山田・梶屋　岐部　容子さん　東飯田・北恵良1　井上　定好さん
- バトンをつなぐ／議会クイズ …… P.20

令和2年 第3回定例会

本定例会は9月2日から9月25日までの24日間開催されました。
報告3件、議案14件、発議2件、陳情1件を慎重に審議しました。

令和2年度一般会計補正予算（第8号）

補正額 4億8,499万円

補正後の額 109億5,839万円

◆ 補正予算ピックアップ ◆

歳入

国庫支出金 （新型コロナウィルス感染症対応地方創生臨時交付金、災害等廃棄物事業補助金等）	4億3,669万円
県支出金 （浄化槽設置整備事業費補助金、企業等農業参入推進事業補助金等）	724万円
繰越金	2億1,464万円

歳出

災害廃棄物処理委託費、被災家屋等解体撤去費補助金等	3億1,387万円
保健福祉センター空調更新工事等	1億5,485万円
合併処理浄化槽設置補助金等 （災害による申請増加）	1,329万円
観光プロモーション委託	2,000万円

人事案件 同意 2件

教育委員会

教育委員（再任）
甲斐 充さん
（飯田・筋湯）

教育委員（再任）
吉光 豊さん
（南山田・桐木一）

第３回定例会議案一覧

	番号	付託	案件名	結果
報告	5	無	地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく健全化判断比率の算定について	
	6		地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく資金不足比率の算定について	
	7		令和元年度ここのえまち総合サービス株式会社決算の報告について	
議案	50	無	令和２年度九重町一般会計補正予算（第８号）	可決
	51		令和２年度国民健康保険特別会計補正予算（第２号）	
	52		令和２年度水道特別会計補正予算（第２号）	
	53		令和２年度年度飯田高原診療所特別会計補正予算（第２号）	
	54		令和２年度介護保険特別会計補正予算（第１号）	
	55	決審特	令和元年度九重町一般会計歳入歳出決算認定について	認定
	56		令和元年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	
	57		令和元年度水道特別会計歳入歳出決算認定について	
	58		令和元年度飯田高原診療所特別会計歳入歳出決算認定について	
	59		令和元年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	
	60		令和元年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	
	61	無	工事請負契約の締結について	可決
	62		教育委員会委員の任命について	同意
	63		教育委員会委員の任命について	

（注）全員一致の場合は「可決」または「否決」と記しています。
可否が分かれた場合は、各議員の意見等詳細を載せます。
※決審特＝決算審査特別委員会

本会議質疑

小川　克巳

質問 保健福祉センターの空調機設置工事1億5千万円と高額だが詳細は。

回答 センター内各部屋20ヶ所に室内機と室外機を取り付け、コロナ対応で国の基準を満たすシステム（全熱交換機）を入れる。外気と内気を入れ替えるのではなく、温度や湿度を調整し換気できる。

質問 長者原オートキャンプ場の修繕料80万円の内訳は。

回答 小便器4基、和式トイレ7基、洋式5基の地中内パイプ等が破損し、修繕が発生した。

質問 小・中学校の備品購入費約5千万円の詳細は。

回答 タブレット端末を小学校6校に315台、中学校に120台、予備40台を購入する。その他充電保管庫等を整備する。

菅原　美好

質問 釣住宅用地区画、十分な広さが確保できているか。

回答 全部で9区画、およそ65～100坪程度で予定している。

質問 農地小規模災害復旧事業補助金3千万円、7月臨時会で3千万円と合計6千万円になるが、復旧事業は業者が施工しないと対象にならないか。予算が不足する場合は、12月補正で対応しては。

回答 復旧を行う技術等を持たれた方が作業するのであれば、個人でも対象となる。復旧事業がしっかり行われるよう、予算措置を行いたい。

麻生　良典

質問 森林経営管理制度に基づく対象森林調査の内容は。

回答 災害で孤立する可能性のある集落の整備と里山の整備を森林計画に基づきモデル的に行う。

増田　裕子

質問 観光プロモーション委託費2千万円の詳細と計画、受け入れ態勢は。

回答 明細は、新聞広告（全面2面）、動画作成（5分程度1本）、ソラリアビジョン3カ所、テレビCM2本、デジタルサイネージ（駅の電子看板2カ所）、ノベルティー2万個（名前等を入れた無料配布物）。誘客地域は九州中心に設計し、状況を踏まえ拡大していく予定。観光協会の強い要望を受けた。費用対効果もチェックできるように協議しながら進める。

総務建設産業常任委員会 審査報告

陳情 1件

農地や農業施設 国の災害復旧事業とならない 災害を、町単独で補助する事業

7月の豪雨は町内各地に甚大な被害をもたらし、農業関係だけでも、町内900ヶ所近くの耕地災害が発生しました。

国の激甚災害指定を受けたものの、被災内容によっては、国の災害復旧事業の対象とならない災害も少なくありません。

今回、このような対象外となった災害を、町単独の事業として支援する制度「町単小規模災害復旧事業」を予算化しました。

詳しい内容は、農林課　76-3804まで お問合せください。

JR九州へ 久大線の早期復旧を要望

7月豪雨により久大線も大変な被害を受け、特に九重町内は甚大で、今も豊後森駅と庄内駅の間が不通となったままで、通学生をはじめ、多くの町民が負担をしいられ、観光面でも大きな影響が心配されます。町や県もJRに働きかけていますが、議会としても早期復旧を求め、JRに要望書を提出しました。

流出したJRの鉄橋（野上）

国に意見書を提出

・新型コロナウイルスについて

新型コロナウイルス感染症の拡大により、町民生活への影響、不安が増大しています。

地方税、地方交付税の大幅な減少等により、今後の町財政はかつてない厳しい状況が予想されます。

この様な中、行政サービスを安定的かつ持続的に提供していくために、国に対し、一般財源の確保・充実を強く求める意見書を提出しました。

・たばこ税について

たばこ税は町にとって重要な財源ですが、法律により、望まない受動喫煙をしっかり対策することが求められています。

喫煙する者と受動喫煙を受けたくない者の双方の立場を尊重するため、たばこ税の一部を「受動喫煙防止事業」として活用できるよう、全国的な制度の整備とその実現を求め、国に意見書を提出しました。

九重町のたばこ税推移

平成25年度	4,621万円
平成29年度	3,384万円
平成30年度	3,240万円
令和元年度	3,138万円

（千円以下切り捨て）

みなさんからの陳情は

玖珠たばこ販売組合　副支部長　湯浅健正氏からの地方たばこ税を活用した分煙環境整備に関する陳情については、重要なたばこ税を安定確保するとともに、望まない受動喫煙を防止するために、たばこ税の一部を分煙環境の整備に活用できる全国的な制度の整備を求めるものであり、採択することとし、国に対し意見書を提出しました。

教育民生観光常任委員会 審査報告

今回の定例会では付託案件はなかったため、本委員会が担当する、子育て支援課、教育振興課、社会教育課、住民課、健康福祉課、商工観光・自然観光課の中から幾つかの話題を紹介します。

体育祭

秋の一大イベントですので、こども園、小学校、中学校では、観客数の制限や開催時間の短縮など、また、こども園では年齢別に分けて開催するなど、それぞれに工夫して行いました。

右の写真はここのえ緑陽中です。トラック内に観客席や競技スペースを集中したことで、生徒の熱気を肌に感じることができて、これまで以上に観客と一体となった体育祭となりました。

ここのえ緑陽中体育祭

東飯田小学校プール施設

被災小学校の復旧

野矢小学校　グランドの整地とプール土砂の撤去は終了しましたが、体育館の復旧、校舎下の土砂の撤去、プールの機械設備修繕は準備中です。

野上小学校　プールの機械設備修繕は準備中です。

東飯田小学校　プール周辺の土砂は10月中に撤去予定です。

公共施設の現状

野上公民館　壁の損傷と床下浸水→全容を調査中

地区集会所　金山と中央5：全壊　　生竜；床上浸水
書曲3、竜門、小久保、滝上；敷地被災
→改修補助金等で対応予定

体育施設　活きいきランド、親水公園、粟野河原、森林公園、野上河川プール
→改修中

野上地区公民館

保健福祉センターの空調を更新します

健康福祉センターの空調システムは20年以上経過しており、老朽化による故障も増えています。古いシステムですので、新しい換気基準を満たしていません。ここは、高齢者や基礎疾患のある人、妊婦など感染リスクの高い人が利用する機会が多く、災害時には避難所・福祉避難所にもなっているので、感染症対策を行う必要があります。

更新に当たっては、来館者への健康配慮に加えてコストダウンも図ります。現在の全館空調から換気効率や運用効率の高い個別空調にします。工事関連費用は、国からの新型コロナ対策交付金のうち1.5億円を有効に活用します。

文化財の保全

今回の水害で、文化財である野上石橋群（通水橋、妙見橋、深瀬橋）が破損しました。九重町の歴史を居ながらに伝え、見る人の想像力を掻き立てる貴重な文化財の一つです。今後も同様な災害が起こるかもしれませんので、復旧や保全に関しては十分な議論のもとに進める必要があります。

家計簿をチェック

審査特別委員会報告

特別委員会を設置

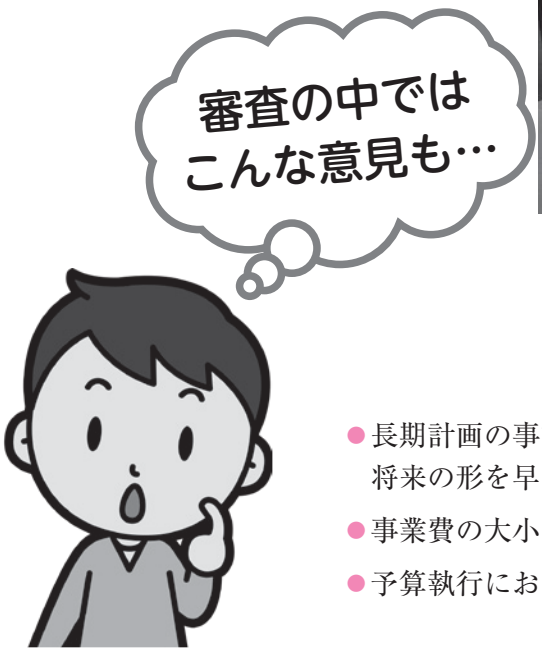
令和２年第３回九重町議会定例会において、議員６名により決算審査特別委員会を設置し、一般会計及び特別会計の令和元年度決算分について、９月３日、４日、14日、15日の４日間にわたり審査を行いました。

各課ヒアリングの様子

今回の決算審査を実施するに当たり、当該予算が議決された際の趣旨と目的に従ってその執行が適正にそして効率的に行われているか、また今後の行財政運営においていかに改善工夫がされるべきかといったことに力点を置きながら書類審査を行い、担当課に対する事情聴取を実施し、慎重に内容の審査を行いました。

委員長が委員会での審査結果を本会議で報告し、報告どおり各種会計決算を認定しました。

役場庁舎共用書庫にて
町の文書の管理状況を確認をしました。
※写真は、簿冊を収納する移動棚



- 長期計画の事業について、事業の認知度、地元への浸透度を深めるため、将来の形を早めに示しては？
- 事業費の大小に関わらず施策の重要性を判断しているのか？
- 予算執行においては、適正な時期に執行されているのか？

令和元年度　町の決算認定における決算

ですが…

- 予算が残った事業の中には、計画的な運営で改善できるものがあるのでは？
- 補助金、補助事業、助成事業では、もっとPRすれば利用者が増えるのでは？
- 収入には、新型コロナウイルスによる経済状況の影響も…

これからは、新型コロナウイルス対策、令和２年７月豪雨からの復旧があるので、お金の使い方をこれまで以上に考えないと…

町の家計簿は、**OK！**

決算認定に当っての付帯意見の概要

●収入未済について

平成30度分と比較して、一般会計においては、町税、使用料、負担金、諸収入等の収入未済額が増加し、収入率も低下。新型コロナウイルス感染症の経済への影響がうかがえる。

●不用額について

大半は、節約や工夫によって生じたものや制度改正等によるもの、また災害等に備えてのもの等である。予算編成にあたっては、必要な予算を厳選して計上し、計上した予算については特別な理由がない限り、着実に、また、適正な時期に執行することを要望した。

●補助金、補助事業、助成事業について

制度周知と計画性のある事業実施を、特に需要が見込めるものは啓発に努めるよう求めた。

●総合意見

以下について、要望をしています。

◎「九重町まち・ひと・しごと総合戦略」の施策に基づき、住民と行政が協働し、一体となって取り組むことが必要不可欠であること。

◎今後の予算においては、定型化した事業においても見直し・再点検を行い、経済性や社会情勢、投資効果を見極め、適正な編成・執行に努めること。

◎住民にとって、わかりやすい行政情報の提供に心がけること。

◎適切な「選択と集中」を行い、行政効果、投資効果が最大限得られるよう効率的な財政運営を行うこと。

臨時会特集

復旧・復興を支える政策を問う!!

令和２年７月　第４回臨時会　提出議案

議案番号	件　　名		結果
報告第４号	専決処分の報告及び承認について（７月豪雨災害対応）		
	専決第10号	令和２年度九重町一般会計補正予算（第５号）４億2,163万円	承認
	専決第11号	令和２年度水道特別会計補正予算（第１号）4,800万円	
議案第 47 号	財産取得について（小型動力ポンプ付積載車２台　1,348万６千円）		可決
議案第 48 号	令和２年度九重町一般会計補正予算（第６号）		可決

第４回臨時会　７月20日《被災後２週目》

専決第 10 号・11 号について

小川　克巳

Q　専決した補正予算は途上段階と判断してよいか。

A　災害の全容が不明の為できることから専決する。

佐藤　明郎

Q　住居を失った方の支援策は含まれるか。

A　被災者の意向を説明会でも聞き取り、町営住宅を優先して紹介する。今後も支援策を検討していく。

岩尾　茂樹

Q　町内の建設業者で復旧が賄えるか。また基金を利用して災害復旧に充てる考えがあるか。

A　町の建設業協会に早急な復旧を依頼している。町道17路線が通行止めでもあり、今後複数年は復旧に時間を要する。基金８億2000万を活用したが枯渇する心配はない。

増田　裕子

Q　被災者対応の住宅に町内の旅館等の借り上げは考えていないのか。

A　方針として、町営住宅の斡旋を優先することを決定しているが、意向を聞きながら対応していく。

菅原　美好

Q　被災個所が甚大な数であるが、予算規模は適正か。また小規模災害は自力施工の策を講じ、予算を超えても是非実施してもらいたい。

A　今回の予算は自力施工での復旧にかかる予算を計上している。施工数が把握できていないため大まかな計上となっている。

議案第 48 号について

麻生　良典

Q　ＩＣＴを活用した医療介護連携事業補助金の44万円の使用目的は具体的に何か。

A　医療介護の情報共有システムの運用費として玖珠九重両町で補助金を出すものである。

佐藤　明郎

Q　コロナ禍での修学旅行の対応と学校行事の在り様について伺う。

A　10月実施の為、現在アンケート実施中である。コースの変更や中学校については時期の変更も検討している。学校行事は全員参加が原則であるが、保護者同意が必要なため必要に応じて協議する。希望者のみということもあり得る。

菅原　美好

Q　ネット環境が整備できない家庭への支援としての100万円の具体的な活用方法は。格差を生まないためにも当初予算での公費負担ができないか。

A　中３と小６は今年度中の整備が国より指示されているため小６で10名、中３で６名の家庭に支援を行う。格差解消策は全国的課題もあり、今後検討する。

岩尾　茂樹

Q　予備費をコロナ対策以外の災害対策費に利用して良いのか。

A　利用してかまわない。

小川　克巳

Q　避難所である各地区体育館にエアコンを設置するとあるが具体的には。

A　文化センターに２台、東飯田・南山田・淮園小学校と飯田の地区体育館に１台ずつ設置する。

九重町議会

コロナ禍での未曾有の災害！予算は?

令和２年８月　第５回臨時会　提出議案

議案番号	件　　名	結果
議案第 49 号	令和２年度九重町一般会計補正予算（第７号）	可決
陳情番号		
陳情第２号	令和２年７月豪雨による甚大な被害に関する陳情（壁湯・生竜・宝泉寺・串野・川底）	採択
陳情第３号	令和２年７月豪雨に伴う大規模災害（道路・集会所）の早期復旧に関する陳情（金山）	採択

第５回臨時会　８月17日《被災後６週目》

議案第 49 号について

増田　裕子

Q 有害鳥獣侵入防止柵補助金750万円の予算で今後どのように整備していくのか。できるだけ早い対応を望む。

A 最大限できることには対応していくが、今回発注した柵は納入まで２か月を要するため仮復旧後の次年度以降に備えることになる。被災個所の柵の再利用等も伺っている。

麻生　良典

Q 農地災害復旧費と測量設計委託費が3億円を超えているが対応する被災個所の数は。それには現在把握した箇所全てが含まれているか。

A 一般の農地が１件35万円で630件、橋梁など特殊な場所が１件200万円で50件と見込み予算を立てている。現状は1100件を超えていると把握しているが取り下げや小規模災害補助への切り替え希望等もあり見込み件数は減らしている。

Q 同じく災害復旧費の道路橋梁補助が測量調査委託で１億1000万円であるが詳細を伺う。

A 道路橋梁については200件で計上している。但し土質調査が必要な個所４件については１件あたり250万円の計上である。

岩尾　茂樹

Q 歳入の財源について基金の繰り入れが３億2000万円と町債が２億1130万円で約５億3000万円の計上があるが、今後国や県からどの程度補填されるのか。

A 町債については交付税等で措置される。基金についても繰り入れ戻し等行うことになる。ただ現行激甚災害の指定が明確でない為補助率の割合が不明でありどの程度補助されるのかはいましばらく時間が必要である。

菅原　美好

Q 農地と林道と道路の測量設計委託費が４億3400万円工事請負費が２億6300万円とあるが、町内の業者だけでは対応できないと思われる。どのように考えているのか。特に農地については時間との勝負であるため早期復旧の対策を願う。

A 復旧工事全体の流れは９月より災害査定、10月より発注ということになる。町内20数社では実際厳しいという予測はあるが、現場代理人の兼任等県とも連携することでできるだけ多くの受注をしてもらう。今後とも町や玖珠郡の建設協会と協議を重ねる。

2度の臨時会で災害対策費17億73,852,000円増額を議決！

【一般会計補正予算の推移】

議案番号	７月臨時会	８月臨時会	９月定例会
補正前	96億06,174,000円	96億85,255,000円	104億73,400,000円
補正額	79,081,000円	7億88,145,000円	4億84,996,000円
補正後	96億85,255,000円	104億73,400,000円	109億58,396,000円

災害対応

去る７月には希にみる豪雨に襲われ、町内至る所で大きな被害を受けました。被災された皆様には心からお見舞い申し上げます。

議会としては今回の被災に適切に対応するため、早期に活動を始めました。

７月17日には、道路の復旧がままならない中、可能な範囲で被災地を視察しました。特に大きな被害を受けた野上川沿い、町田川沿いそれに金山地区を半日で回りました。それまでにも議員は個々に被災直後から状況や住民の話を収集しており、視察で得られたことも含め、その日のうちに20数項目の意見要望として執行部に提出しました。

宝泉寺地区（陥没した道路）

豊後中村駅周辺（流された鉄橋）

７月20日には臨時議会を開きました。被害の全容が把握されていない状況でしたが、災害対応の施策や予算の審議を速やかに行う必要があると判断しました。

７月29日は全員協議会のみを行い、以前提出した意見要望に関する執行部の文書回答について、議員間で議論を行いました。対応が終了した項目もありましたが、検討課題については実現に向け進捗を把握していきます。

８月17日にも臨時議会を開き、予算を審議。決定しました（８～９頁参照）。

九重町議会は４月からこの間５か月で、コロナや水害対応のために臨時議会を３回、全員協議会は議会開催中以外に３回開催し、これまでに経験したことのない事態に積極的に対応してきました。

住民の皆さんのためにできるだけのことをやってきたつもりですが、至らないことも多々あったことと思います。これからも皆さんのご意見をお聞きしながら、より良い議会活動に生かします。

昭和28年の災害と比べてみると

昭和28年は災害の発生した６月25日から28日の間に約800㎜の降雨量であった。住宅被害は飯田で、田畑被害は野上で比較的少なかったが、町全体が被災し、人的被害も数十名に及んだ。鳴子川鉄橋が流失したが、一か月間の不通で済み、国道210号線は長期間要した。これを機に玖珠川の拡幅や堤防の強化が行われ、その後の減災に寄与した。

今回の災害は規模的には昭和28年を下回るが、当時を知る人の中には、今回の方が激しいと感じる人もいたように、集中した被害であった。

		昭和28年	令和２年
住宅被害	全半壊	179	80
	浸水	1322	176
田畑被害		1391ha	1252か所
道路橋被害		869	424

議会クイズ

（答え）　②

定例会が年4回（3月、6月、9月、12月）プラス臨時会が状況に応じて開かれます。ちなみに今年は、臨時会がすでに5回開催されています。コロナや災害が続いたことも要因のひとつです。（1月17日、2月10日、5月15日、7月20日、8月17日）

町政を質す 一般質問

8名の議員が質問

佐藤　博美

ここのえまち総合サービス株式会社、存続の意義はあるのか…

…… 民間の発想で育てていきたい

佐藤　2年前の4月に業務を始めた、町100%出資のここのえまち総合サービス株式会社。本来なら今年の4月からは、民間から社長を公募して事業展開していくはずが何も進展がない。今の役場職員の経営感覚では無理である。現在行っている事業は民間委託した方が、もっと活性化していくのではないか。この会社の存続の意義はあるのか。

町長　当初予定の民間からの社長配置等はできていないが、町役場の行政改革一環として町100%出資の会社を設立して来たこともあり、職員の負担減となっている面もある。又シルバー人材を活用した有償サービスの需要も増えている。

今後民間の意見を取り入れながら、民間の発想で育てていきたい。

町の20年後、将来像検討プロジェクト、方針はでたのか?

佐藤　2040年には団塊のジュニア世代が65歳を超え、その反面20代の世代が半分になる。九重町の人口も5,880人になり、約40%減少すると言われている。この20年後に向けて九重町のあるべき姿を考えるということでプロジェクトが始まって約2年近くになる。方向は出たのか。

今年度中に示し、第5次総合計画の検討材料のひとつとしたい

町長　今年度になり、コロナ、大雨災害でプロジェクトは遅れているが、子育て、教育、医療、介護、インフラ、公共交通、想定される問題を分析、共有し、今年度中に報告し、第5次総合計画の検討材料のひとつとしていきたい。

今回の水害で宅地不足が深刻化、役場は対応が遅い、スピード感を持たないと九重町の将来展望はない!

佐藤　「九重町に住みたいが住む家がない」「家を建てたいが宅地がない」、定住対策は九重町にとって最大の課題だと、今までに何回となく言ってきた。淮園地区、区長の連名で宅地造成の陳情も出て2年になる。亀鶴苑跡地、野上中学校跡地等候補地はいくらでもあった。今までどんな取り組みをしてきたのか。

重要な課題だと認識、必要性を検討中

町長　淮園地区に若者定住の宅地分譲を、という区長連名での陳情、その後玖珠会とは話し合いは持っていない。亀鶴苑跡地以外にも適地を探している。宅地造成は重要な課題だと認識している。町有地の分譲、必要性を検討中である。

水害で使えなくなった宅地

7月豪雨災害についての概要と問題点

…… 経験のない災害で多くの検討課題がある

野上香代子

7月豪雨災害の被害概要

野上　豪雨災害の住宅被害、河川被害、農地被害の概要は。

町長　住宅被害は全壊7戸、大規模半壊を含む半壊81戸、一部損壊104戸、床上浸水78戸、床下浸水99戸、河川被害は県、町に関わるもので約500件、農地被害は農地1252箇所、施設133箇所、農道289箇所合計1413箇所の被害である。

野上　河川、農地被害の復旧見込みは。

町長　原則3年としている。できるだけ迅速な対応をして行く。

野上　住宅が絡む河川工事を優先する考えはあるのか。

町長　優先して行う計画である。

野上　支援窓口をひとつにできないか。

町長　担当課が違うので難しいが、今後検討する。

野上　避難所の見直しは。

町長　検討課題である。

柚木

樫原

被害発生時の行政発信について

野上　今回の災害で防災無線の防災情報はどの様な形で発信されたか。

町長　レベル3で1回、レベル4で6回、避難・命を守る行動依頼3回の合計10回の放送をした。

時間は7月6日の夕方3回、7月7日の朝2回、夕方5回である。

野上　災害がおきているにもかかわらず、レベル5の放送がなされなかったのはなぜなのか。

町長　夜間の避難となると危険性が高いので行なわなかった。

野上　無線放送以外の情報発信は。

町長　ケーブルテレビやホームページ、防災アプリ等がある。

野上　今回もホームページへの掲載が遅かった。迅速な対応は出来ないのか。

町長　検討する。

ボランティアセンターについて

野上　災害ボランティアセンターの活動期間と人数は。

町長　7月10日から8月21日までの43日間　延べ2,291名の方の活動があった。

野上　民生委員が活動していたが、要請をしたのか。

町長　進んで手伝っていただいた。述べ57名が参加。主に道案内や受付をしてもらった。

コミュニティバスについて

野上　災害による迂回のためコミバスが遅延しているようだが、遅延の認識は。

町長　認識している。10月には通行止めが解消される見込みなので、遅延は解消される。

野上　解消されるまで不都合がある。時刻表の見直しは出来ないのか。

町長　見直す。町民全員への周知は難しいが、利用者には考える。

有吉　富生

被災個所の調査検討を行い災害記録に残し再災害にならないように

…… 可能な限りの調査検討を行い災害記録を残す

7月豪雨災害について 豪雨災害の記録を残しているか

有吉　今回の豪雨災害は九重町の歴史に残る大災害である、災害記録に残して再災害に遭わないように町の防災対策を進めるべきではないか。

町長　被災個所も過去最大の件数であり、今後の防災対策にも記録を残し再災害に遭わないように防災計画を検討していく。

豪雨被災個所の原因調査が必要では

有吉　被災個所の原因調査が必要であり、同じ個所が再災害に遭わないよう対策をすべきではないか。

町長　知事をはじめ大分県との協議をしているが、被災原因を調査して再災害が発生しないよう可能な限りの対策をしていく。

豪雨災害の復旧計画は

有吉　過去最大の被災件数であるが建設協会の協力を頂きながら申請者の一日も早い復旧を図るべきだが、工事までの執行をどう進めていくか。

町長　協会との連携を図り、九重町の発注基準に基づき指名競争入札で発注を行う。

7月豪雨災害被災所

新型コロナウイルス感染拡大防止対策について コロナウイルス感染拡大防止対策の取り組み成果は

有吉　コロナ感染拡大防止対策として取り組んだ支援事業は成果が見えているか。

町長　商工・観光・農業・学校等に、コロナ対策の支援事業を行ったが支援の効果は大きく反映されている。

町民の相談窓口は

有吉　町民の心配ごとに対する相談窓口は設置されているか。

発熱外来（テントの中）の様子

町長　国、県の指導により対応しているが、病状によって、かかりつけ医、発熱外来、保健所が窓口となる。

町政振興 町の公用車に九重町の名が入ってないが

有吉　公用車に九重町の明記がないが、なぜか、公用車は町の観光宣伝車でもあるべきでは。

町長　カッティングシートを貼って対応していたが、現在、在庫がなくなっていて明記できていない。観光宣伝車にもなることから検討する。

町長の再選出馬の抱負は

有吉　二期目の再選出馬に向けての抱負は。

町長　コロナ対策、災害対策と同時に発生した対応、人口減少問題等々の課題は多いがこの町で暮らしたいと思えるように町民の底辺の支え合いを大事にして、町の事業、防災、農業、商工観光等の充実に向けて課題と向き合い、住民の幸せを願い町づくりを進めていく。

実務の町長

7月豪雨災害の対応は

…… できるだけ早く復旧したい

小川　克巳

7月豪雨災害のは対応は!過去に経験したことの無い大災害に対して

小川　7月豪雨災害は、国道、県道、町道、農道、水路等において過去に経験したことの無い災害が発生した。町道は数ヶ所に渡って大規模に崩壊し、孤立した地域も発生。被災後2カ月経ったが復旧の見通しもたっていない。台風シーズン等を迎え、被災地区住民は一日も早い生活道路の復旧・復興を望んでいる。

災害個所の測量・設計の状況と今後の業者への発注見通しはどうなっているか伺いたい。

できるだけ早く復旧したい

町長　町道の大規模災害地区については河川等関係もあり、土木や西部振興局等と協議を重ね、早期に事業実施できるよう努力していく。

町道等で大災害を受けた金山地区

飯田地区における各種証明書発行、その後の検証は

小川　令和元年度にスタートした飯田地区における住民サービス事業、各種証明書の発行について制度は評価するが、1日平均2件に満たない。公民館等でも対応できるのではないか。又、マイナンバーカードの件数は。

町長　本年度4月以降月平均38件、昨年度は月平均28件だったので多少増えたが3年間の中で効果も踏まえ検討したい。マイナンバーカードは8月末で192件、累計1,427件である。

マイナンバーカード等証明書の発行に訪れた人々

町財政の今後　推計は

小川　町財政は経常収支比率も元年度93.1%と年々悪化している。コロナ関連や7月豪雨災害発生で不透明な面もあると思うが、今後の財政の推計見通しは。

町長　財政については、おおむね良好と思っているがコロナ関連や豪雨災害等で懸念材料もあるが、引き続き健全化に努力したい。

岩尾　茂樹

豪雨災害への対応（復興支援）について

（災害のうち国、県、町の支援対象にならないものは）

…… 対象外はないと認識している

岩尾　災害のうち国、県、町の支援対象にならないものはあるか。

町長　対象外はないと認識している。

岩尾　宅地（庭先）の崩落や家の周りの土砂崩れ、個人で掛けた橋の崩壊、空き家の被害について支援は出来ないか。

町長　現状では、個人の所有に係るものなので支援は考えていない。

岩尾　住民の声は強く支援を望んでいるが、町独自の施策で支援が考えられないか。他市町村では町が独自の支援を追加している例もある。住民は更なる支援を期待しているので、是非検討していただきたい。

町長　現状では、支援することは出来ない。ルールの見直し等しなければ対応出来ない。

岩尾　被災者で、町外に避難している人はいるか。

町長　玖珠町、別府市等に数人いる。

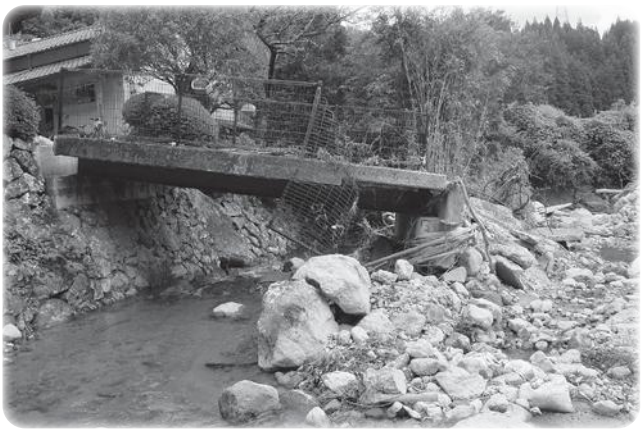
岩尾　住居の提供はどうなっているか。

町長　町営住宅等の情報は知らせている。

岩尾　仮設住宅の建設やバリアフリー、ペット等の問題はどうなっているか。総じて、人口減少問題にも関わることである。

町長　住宅の斡旋については、何度も訪問し誠心誠意案内しているが、全員の理解には至っていない。

岩尾　マスコミへはどのように対応しているか。



橋の崩壊（野上）

町長　問い合わせへの応答や記者クラブへの情報提供を行っている。

岩尾　新聞やテレビ等による被災状況等の報道は、ボランティアの募集やふるさと納税による支援等につながり、非常に有用であると考えるが如何か。マスコミとは連携を密にしていただきたい。

町長　今回は特に、新聞社数社に情報提供した。

庭先の崩落（東飯田）

新型コロナウイルスへの対策について

岩尾　他市町村で実施した施策情報を集めているか。

町長　インターネット、新聞等で収集している。

岩尾　九重町で実施していない施策とその理由は。

町長　家賃補助や光熱水費の減免、雇用助成等である。

岩尾　全町民に対して支援金や商品券等を支給出来ないか。また、国の支援に該当しないものに対して町独自で支援出来ないか。他市町村では色々実施している例もある。

町長　今後の状況を見て色々な施策に対して、追加の支援が必要か検討する。

岩尾　災害等でGoToトラベル等の支援が受けられなかった旅館、ホテル等に対して、復旧後に受けられる町独自の支援策を検討出来ないか。

町長　復旧後の特例を国、県に要請している。

インフル流行期の住民や旅行者への対応は

…… 郡医師会とタイアップし体制を整える 分かりやすい形でお知らせする

麻生　良典

安全で安心なまちづくり 危険地域から安全な場所への 住居移転を中長期計画で行うべき

麻生　今回の災害状況を過去の災害やハザードマップと比較対照した結果はどのようであったか。浮かび上がった課題は何か。

町長　ハザードマップとの比較対象は区長や防災士の協力も得て進めていく。課題は避難所の運営方法などであった。

麻生　町の防災計画やマニュアル等を早期に更新する必要がある。

町長　防災計画は県と歩調を合わせて毎年更新している。避難所マニュアルは適宜更新する。

気候危機時代の「気候変動×防災」戦略（内閣府）より抜粋

取り組み例
- 気候変動を踏まえた基準や計画に基づくインフラ施設の整備
- 災害危険エリアになるべく住まわせない土地利用、災害リスクに適応した暮らし
- 古来の知恵に学び、自然が持つ多様な機能を活用して災害リスクの低減等を図る

○災害危険エリアからの戦略的な撤退
- 災害ハザードエリアにおける新たな開発の抑制
- 災害ハザードエリアに立地している住宅等の移転促進

麻生　国の新たな方針もあり、まちづくり=小さな拠点づくりの観点から、安全な立地に危険地域の方々の転居を促進する必要がある。第五次総合計画の中で実行しては如何か。

町長　小さな拠点づくりでは、4地区よりもう少し細かな行政地区。集める行政ではなく出向く行政が地域特性に合っている。第五次総合計画では、農業、地域コミュニティ、交通網等と共に多角的に検討したい。

旅行者や住民への感染症対策

麻生　九重町の感染症対策と経済対策は如何か。

町長　感染症対策と経済対策は両立させる。医療や衛生面では検査能力を高め体制を充実させる。経済面ではこの数か月の対策は有効であったと判断している。知事や県内首長によるリモート会議で、県全体としての共同宣言をまとめることを要望した。

麻生　多くの旅行者が安心して来町するには医療面での備えも必要である。退館時の体調確認や旅行者への医療面での対処は如何か。

町長　入館時にはGoToや町のガイドラインに則って検温等の体調確認を行っている。退館時については、宿泊業者と検討する。

旅行客が戻りつつある温泉街

麻生　インフルエンザ流行期に向けて、かかりつけ医などの地域の医療機関も活用することになった。近所のかかりつけ医と発熱外来などの医療機関の役割分担はどうなるのか、分かりやすく町民に知らせるべきである。

町長　郡医師会で病院間の役割と住民が掛かる病院を整理中である。まとまり次第皆さんにお知らせする。

麻生　インフルエンザワクチンの対象や補助を見直す予定はないか。

町長　ワクチン接種には一定の補助を行っており、個々人の感染症対策行動の徹底に努める。

増田 裕子

災害避難所、町内宿泊施設と協定を結び、積極的に進めては

…… 観光協会と検討を進める

7月豪雨災害の教訓と今後に向けて

増田 かつてない甚大な災害、被災者に対する支援はどうであったか。小さな町のメリットとして全壊・半壊等大きな被害を受けた方の把握はすぐできるはず。状況把握と対応をしっかりするべき。

町長 災害救助法に基づき生活物資（IH調理器等）を10戸に現物支給した。頼れる方がない場合が対象だが、今後は周知が課題。住宅は、町営住宅等を提供した。

増田 災害ボランティアセンター、初体験にもかかわらず素晴らしい活動をしていただいた。被災者は非常に感謝している。役場との連携はどうだったか。

町長 立ち上げ時の物資調達や役割分担等の課題があった。運営費は協議する。今後に向けて、情報共有が課題と認識している。

増田 避難所での3密を避けるためにも全国的にホテル避難が進んでいる。高齢・障害・妊娠出産時・乳幼児・ペット同伴等々、体育館に避難しにくい場合も多い。町内の宿泊施設と連携協定を結び、災害時の宿泊施設利用を積極的に進めてはどうか。

町長 コロナ禍で観光協会と協議中に水害が起きた。宿泊施設によって状況は異なるが、検討を進めたい。

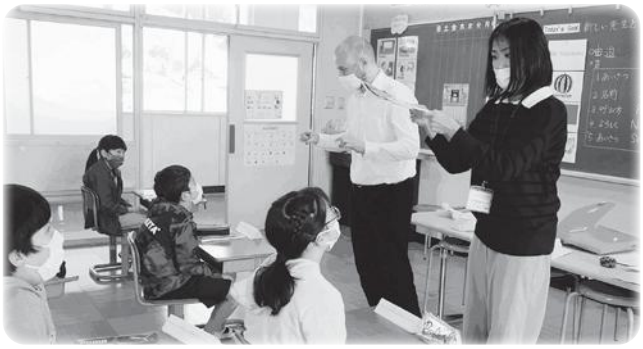
黒猪鹿へ上がる道がなくなった（柚木）

崩れた田んぼ

学校における図書司書や支援員の処遇改善を!

増田 コロナ禍での学校、教職員はもとより会計年度任用職員の負担は心身ともに増加している。皆がんばっているが、学校現場は子どもたちに対する責任も大きい。正規職員との格差を少しでも埋めるために処遇や勤務形態の改善できないか。

教育長 今年度から会計年度任用職員（パートタイム）として、国の給料表を適用している。今後の勤務形態は検討中。教員免許など資格を必要とする職種については処遇に反映している。



コロナ禍での授業（野上小学校）

財政や役場の体制を抜本的に見直すべきだ
財政―――思い切った投資と削減
組織体制―縦割りを排除して再編
災害に強い町・町民の命を守る町へ!

増田 災害によって見えてきたのは、役場組織の縦割りだ。住民は多数の担当課へ行かねばならず、大変疲れた。役場職員には住民のためのスペシャリストになってほしい。そのためには、災害関係を危機管理に統括し、ケーブルテレビを広報で一括するなど、組織体制の抜本的な見直しをはかり、町民のための役場組織にする必要がある。計画は。

町長 今回の総括として、体制も議論する。

コロナ禍での未曾有の豪雨災害

住民の思い・願いを集約するために情報インフラの構築を

…… デジタル社会に向け新たな一歩を前向きに整備していく

岐部　俊哉

令和の時代を生きる！ 第7弾 2020 09「人づくり」は「町づくり」

昭和28年を超える未曾有の大水害で被災した方々に心からのお見舞いを申し上げます。また、災害からの復旧復興に絶大なるご尽力をいただいた方々に敬意と感謝を捧げます。コロナ禍の中、多くの不安を抱えたままの厳しい現実をしっかりと受け止め、復旧復興に全力で正面から取り組んでいく所存です。一筋の光明を辿って、いずれ必ず訪れる日常の風景を信じて共に歩を進めていきましょう!!

岐部　農地の小規模災害復旧事業が終了した後の本格的な復旧作業について今後の工程計画を伺う。

町長　農林課が行っている事業は概ね3月をめどにしている。終了後は建設課による復旧作業に入る。

岐部　農地の水路と防火槽の被災、河川護岸、水田の土砂流入の被害など複合的な災害の対応について担当課を伺う。

町長　農地の水路は農林課で防火槽は危機管理課、河川護岸は建設課、水田の土砂撤去は農林課が担当している。

岐部　複合的な災害と言っても被災者側に複合的な原因があるわけではなく、あくまで行政の手続きが複合的にしている。縦割りの行政組織のデメリットをそのままにしないで住民の思いと願いが形になる行政運営が望まれるがその意思を伺う。

町長　住民の目線を大切にして、復旧復興に全力で取り組む。また、取り組みも含めてしっかりと総括したうえで今後の行政運営に生かしていく。

岐部　激甚災害の指定を受けたことで大きく何が変わるのか。

町長　激甚災害の指定を受けると災害に対する補助率が大きく変わる。年明けには補助率が示される。また復旧作業の期間も3年間という期限が示されている。

支援物資を受けつける社会福祉協議会の職員

岐部　町の情報推進の目的は①町内への情報発信②町外への情報発信③住民の意見集約の3つである。今の町に不足しているのは③住民の意見の集約である。対策を立てる予定はあるか。

町長　マンパワーの不足は否めないが現在の情報媒体を使いできるだけ住民の声が受け止められるようにする。

岐部　申請書等のダウンロードの準備過程ひとつとっても専門家がいれば効率的なことは明白である。町内外への情報発信や住民の意見集約もよりスムーズになる。国の方針にもある様にデジタル化を推し進めるために情報推進課（仮称）の設置をすることができないか。

町長　現在の情勢では町のデジタル化は国・県に準じて推進していかねばならない時代になっている。ただ給付金の措置の時も問題が発生した。課題の解決を図りつつ前向きにデジタル化推進に努めていく。

わたしのひとこと

九重町に嫁いで

南山田　梶屋
岐部　容子さん

七年前から民生委員を仰せつかりましたが、まだまだ自分の力不足を感じています。しかし訪問するたびに心を開いて話しをしてくれるようになり、少しでもお役に立っているのかなとうれしく思います。

二十三日からはサロンも始まり、みなさんで和気あいあいで体操や歌などを唄い少しでも体力の維持と心の健康を保ち前に進めることを願っています。

背伸びすることなく自分を持ち、すばらしい自然を持った九重町の住民としての眼と、他の地から縁あって来た者の眼の二つを持って、九重町を見ていけたらと思っています。

生まれ育った所より今は倍の年月九重町に住んでいます。最初は方言が理解できず失敗したこともありましたが今は立派に玖珠弁を使いこなしています。地域の習慣に一喜一憂していたこともきのうのことのようです。三十年近く主催する刺しゅう教室を通じていろんな方に巡り合い、刺しゅうというものを知っていただき助けられたり励まされて今日迄きたように思います。

刺しゅう教室の作品

そやな、今がいちばん

東飯田　北恵良1
井上　定好さん

大阪で長いこと仕事をしてたので、自分では気が付かないけど、今でも関西風のしゃべりのようです。ソフトな感じでいいかな。

十年ほど前に女房と一緒に故郷に戻ってきました。還暦前でまだまだ働ける年だったので、それまでの経験を生かすことにしました。庭や木の手入れ、修繕やちょっとした工事など、いろんなお願いに応えるようになんでもやってます。一人での時もありますが、だいたい何人かでやっていて、良いパートナーにも恵まれています。体を使うのは楽しく、お客さんに喜んでもらうのがうれしくて、益々の励みになります。仕事が終わって風呂に入って一杯のビールで満足です。

住んでいる恵良地区には昔から続く恵良組という集まりがあります。今年は未熟ながら私が恵良組の組長ですが、いつもと違う年です。楽しみの盆踊りや敬老会は中止になりました。これから幾つも行事がありますので、皆と話し合って良いふうにしたいです。

仕事柄ケガはつきものですが健康で仕事を続けて、地元のためにも頑張ります。絵を描くのが趣味ですが、今はなかなか時間が取れません。暇をつくって、また描こうと思っています。今度は油絵かな。

夜を徹して描きました

傍聴へどうぞ　次回は12月です

バトンをつなぐ

第7回

議員リレー

⑦ 大津留敏加

地元農協に40年勤めてから農業を5年して、議員になり10年目となりました。

私が若かったころに比べてみると今の社会は田舎でも情報が多く、昔に比べ多くのことを考えるようになりました。

地元の人々といろんなことに取組んでいこうと思います。

地区リレー

飯田

白鳥神社秋の祭典
コロナ対策による最小限での楽打

野上

野矢小学校運動会

議会クイズ

議会本会議は1年に何回開くでしょう?

①4回
②4回プラス臨時に数回
③通年何回でも開く

（答え）10ページを見てくださいね

議会だよりについて
ご意見をお聞かせください。
【議会事務局:76−3814】

令和2年10月16日
発行／九重町議会　編集／議会広報特別委員会
〒879-4895 大分県玖珠郡九重町大字後野上8番地の1
☎ **0973-76-3814**・FAX **0973-76-3809**
メール（議会事務局）**gikai@town.kokonoe.lg.jp**

編集後記

今年を振り返るにはいささか尚早ですが、これまでにあまり経験したことのないインパクトの大きな年です。

新感染症に始まり、未曽有の災害、突然の首相交代。世の中何が起きるか分からない、の最たる見本です。

感じることは、「しなやかに」と、「生まれ変わる」ということの大切さです。長い目で見ると社会や価値観が変わっていこうとしています。その中での今回のいくつかの出来事です。

個人としても社会としても見つめ直す必要がありそうです。そして議員としても。

麻生　良典

広報委員長　増田　裕子
副委員長　麻生　良典
委員　有吉　富生
委員　佐藤　明郎
委員　岐部　俊哉
委員　野上香代子